

5.4 環境改善目標(4) グリーン調達

目標 エコ商品の調達

具体的方策

1. グリーン調達の指針を制定
2. 社内での調達状況を調査
3. 社内調達品のガイドラインの有無を調査

活動において、目標達成の為に努力工夫したこと

表5.4に、平成15年度調達状況の調査結果を示します。
次年度はグリーン調達率の目標を定めて取組む予定である。

表5.4 社内調達品リスト

品目	ガイドラインの有無	エコ商品の有無	西業の状況		廃棄時の形態			今後の対応
	●有	●有	ガイドラインに適合	エコ商品である	リサイクル品	産廃品	その他(資源品)	
事務所維持用品								
照明器具	●	●	×	×	●	●		
空調機器	●	●	△	×				
建築資材	●	●	×	×	●	●		
オフィス機器								
パソコン	●	●	×	△		●	回収	
プリンター	●	●	△	△		●		
電話	●		×	×		●		
カートリッジ	●		×	×	●			
LANケーブル		●	×	×	●	●		
テーブルタップ			×	×	●	●		
マウスパッド			×	×		●		
コピー機	●	●	×	×			回収	
机	●	●	×	×				
いす	●	●	×	×				
冷蔵庫	●	●	×	×			回収	
文房事務用品								
紙ファイル	●	●	△	●	●			
ドッジファイル				●				
ペンシルの芯	●	●	×	×			●	
ホッチキスの針				×	●			
コピー用紙	●	●	●	●	●			
ロール紙(白紙)	●	●	×	×	●			
ロール紙(トレペ)	●	●	×	×	●			
名刺	●		×	△				

5.5 廃棄物処理について記録・処理の流れの調査

目標 適切な廃棄物の処理

具体的方策

1. 廃棄物について記録
2. 処理の流れの調査

活動において、目標達成の為に努力工夫したこと

分別する容器を準備し、容器に入れる時のルールを決めた。
(プラスチック容器は、洗ってかさばる物は分断して入れるなど)
正しい分別をする為に、全体会議で分別方法の教育をした。
許可業者と契約をし、曜日を決めて収集をしてもらう。
その時に、計量し、許可業者に確認のサインを貰う。
コピー用紙やカタログなどは、量が多いので、直接民間の古紙リサイクル施設に自己搬入する。(経費節約の為)
許可業者やメーカーに回収後の処理方法を聞き取り調査した。
(今後追跡調査や、処理場の見学を実施したい)

実績 適切な廃棄物の処理と計量の記録は、日々の業務として定着できました。
廃棄物の流れを把握することができた。

困った事 蛍光灯と電池は、産業廃棄物扱いのため、処理業者は少量では収集しない。
蛍光灯は100本、電池は50k単位になるまで、ためておかなければならない。
15年度から、サイト3の福岡事務所が入り、自治体ごとに廃棄物の分別方法が違っているので、困った。(福岡の種類が少なかったが、種類別の排出量を知る為に、鹿児島と同じ種類で計量してもらう事にした)

取り組んだ感想

初めの頃は、分別の種類が分からずに、大変だったが、今では分別する事が当たり前になってきた。
廃棄する時の事を考えて、購入するようになってきた。

